

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院に変形性股関節症で入院され、人工股関節全置換術を実施した患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

人工股関節全置換術患者の中枢性感作が術後機能経過に与える影響 (JHEQ・歩行速度等)

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 福元 栞奈

3. 研究の目的

THA 後に疼痛が残存する割合は約 10～28%と報告されており、QOL を損失すると報告されている変形性関節症患者の疼痛は構造変化のみでは説明できず、変形性関節症の疼痛のような持続的で有害な末梢刺激は中枢神経系の過興奮を引き起こし、次いで中枢性感作を引き起こす可能性がある。術前に中枢性感作高値の変形性膝関節症患者は TKA 後の術後疼痛が強く、疼痛緩和の点で良好な転帰が得られないとの報告はされているが、変形性股関節症患者の THA 後における中枢性感作と術後予後に関する術前から術後にわたる縦断的な研究報告はされていない。よって本研究の目的は THA 施行患者における中枢性感作が術後予後に与える影響を検討することである。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

変形性股関節症術後の患者さんで、西暦 2020 年 10 月 1 日から西暦 2026 年 3 月 31 日までの期間中に、リハビリテーション治療を受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、基本情報、疼痛・QOL に関する質問紙、身体検査(関節可動域、筋力、歩行速度、TUG、脚長差、疼痛など)に関する情報です。

(3) 方法

電子カルテから上記の調査項目を抽出します。症例集積後、様々な仮説に対する統計的評価を検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 福元 栞奈

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : fukumoto.kanna@aijinkai-group.com